

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0401	自然環境保全活動推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
早池峰国定公園地域の自然環境保全とゼニタナゴ生育環境の整備

《事業開始の背景》
県では自然環境保全のため自然公園保護管理員を設置しているが、早池峰国定公園については花巻市・遠野市・宮古市へ委託し、自然公園保護管理員を設置している。また、平成21年度に関係機関により早池峰国定公園地域協議会を結成し、共同で自然保護などの事業を推進している。また、ピオトップ施設について、県基金事業を導入して整備することとなった。

《事業概要》
○自然公園保護管理員設置
早池峰地域に係る自然公園保護管理員を設置
○早池峰国定公園地域協議会負担金
一般会計、特別会計に係る負担金
○水路2面装工（柵渠）L=30m（全体L=74m）
中山間ふるさと・水と土保全対策事業により地元組織（矢沢地域の自然保護を考える会）が主体となり実施

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 高山植物盗採検挙件数	件	目標	0	0	0
		実績	0	0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	市民生活部	生活環境課	山口 周行	256

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	4,719				
財源内訳	国庫支出金	2,755			
	地方債	1,800			
	その他	100			
	一般財源	64			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

自然環境保全活動推進事業概要

自然環境保全活動推進事業費
報酬 2,877千円
・自然公園保護管理員報酬(高山植物等盗採パトロール、登山道の点検等) 人員 4名、期間 5/15~10/31、勤務日数 110日
賃金 30千円
・登山道整備等作業員賃金(登山道草刈等) 4人×1日
需用費 13千円
1 消耗品費 長靴、プリンタインク等
賃借料 125千円
・中山間ふるさと・水と土保全対策事業機械借上料
原材料費 934千円
・中山間ふるさと・水と土保全対策事業資材購入
負担金補助金及び交付金 740千円
早池峰国定公園地域協議会負担金(一般会計) 610千円
・山開き、清掃活動、小田越監視小屋管理、盗採防止活動等
早池峰国定公園地域協議会負担金(特別会計) 130千円
・自然公園内の車両通行規制に係る事業費

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0401	自然環境保全活動推進事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	人と自然が共生できる環境づくり
	2		2-3	
目的	早池峰国定公園地域の自然環境保全とゼニタナゴ生育環境の整備			
対象	早池峰国定公園地域、矢沢地域の自然保護を考える会			
意図	早池峰国定公園地域における自然環境の保全が図られるとともに、ゼニタナゴの生育環境を整備する。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- 自然公園保護管理員設置
早池峰地域に係る自然公園保護管理員を設置
- 早池峰国定公園地域協議会負担金
一般会計、特別会計に係る負担金
- 水路2面装工（柵渠）L=30m（全体L=74m）
中山間ふるさと・水と土保全対策事業により地元組織（矢沢地域の自然保護を考える会）が主体となり実施

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 自然保護管理員活動日数(1人当たり)	日	計画	110	110	110
		実績	110	110	
② 早池峰山登山者	人	計画	16,000	16,000	16,000
		実績	21,640	23,797	
③ 水路整備延長	m	計画		30	24
		実績		30	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 高山植物盗採検挙件数	件	目標	0	0	0
		実績	0	0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
マナーアップの呼びかけや盗採防止パトロール活動などの要因も大きいと思われる。				

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？
自然環境保護を推進する立場から、登山シーズンにおける車両交通規制を継続が必要との意見が多い。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	自然公園の管理については行政が行う必要があり、県は公園全体の管理、市は県からの委託により保護管理員を設置するなど、それぞれ業務を分担し対応している。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	ゴミの投げ捨てや登山道以外への進入による高山植物の踏みつけなど、登山マナーについては向上の余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	事業費について、自然保護や登山者の事故防止の観点からも自然保護管理員の削減は難しい。 人件費について、県・市・関係機関との調整及び現地管理業務のため、削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	早池峰国定公園地域全体の自然環境の保全が図られるので公平・公正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括
効率性の観点において事業費の削減は難しいが、関係機関や自然保護監視員による自然保護活動により自然環境の保全が確保されているが、登山マナーの向上については引き続き登山者に訴えていく必要がある。
ゼニタナゴを保護するため、市から材料を支給と重機借上の支援を行い、矢沢地域の自然保護を考える会と協力し、環境を整備することにより、永続的な保全に努めるものである。